

HSK ☆ いちばんぼし

HSK通巻77号

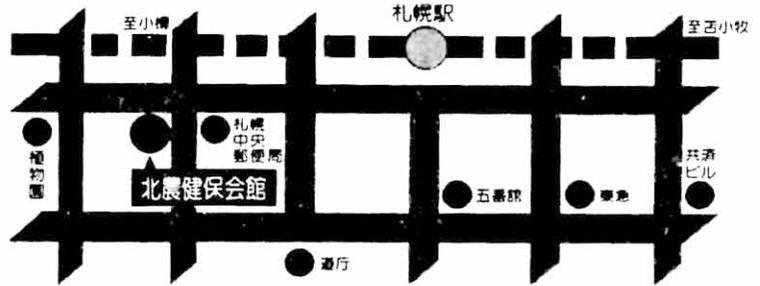
昭和48年1月13日第3種郵便物認可
昭和53年9月10日発行(毎月10日)

全国膠原病友の会北海道支部

いちばんぼしA6.32

膠原病友の会 北海道支部第四回総会へ向けて

講師
勤医協中央病院
大橋晃先生



北農健保会館 ☎ (011) 261-3271
札幌市中央区北4条西7丁目

初めての一日二日の懇親会と総会と医療相談会です。

新入会員の方、今まで参加されたことのない方、希望の持てる明日を迎えるために、ひとりでも多くの方の参加を呼びかけます。

記

会場 札幌市中央区北四条西七丁目
北農健保会館(地図参照)

日時 友の会懇親会・十月十四日(土)
午後六時～八時

定期総会・十月十五日(日)

午前十時～十二時

医療相談会・医療講演

十月十五日(日)午後一時～三時

参加費 食事代(懇親会夕食二、〇〇〇円
朝食・昼食五〇〇円くらい)。宿泊

費と、遠方からの参加者の交通費
の半額を会で負担します。

同封のハガキは、おろかえしご返信下さい。

尚、この機関紙は、当日の資料になります
ので、忘れないでご持参下さいませよう。

五十二年をふりかえつて

支部長 寺 嶋 礼 子

支部長として昨年一年間の活動をふりかえって、二、三
気づいたことを話してみたいと思います。

現在、膠原病友の会の道支部会員は、約百名ですが、こ
れは、特定疾患受給者票を受けている、道内総数、約六百
名に対して、1/6にしすぎません。（社会保険本人は、含
まれないので、実際にはもっと多い）

北海道支部が出て、六年目に入るわけですが、活動の
伸び悩みというものを、支部長として感じます。この沈滞
ムードの原因は、なんなのか考えてみると……

一、役員の補充がつかないまま、現在主に三名で運営して
いる現状です。家庭と職場とその上に友の会の活動という
ことで、個人にかかってくる負担が大きく、その結果、活
動の範囲を狭げられなかったのが現状です。

年六回の機関紙を出すだけで、せいっぱいでした。

二、なぜ役員が育っていかないのかという問題については
この病気の特徴から言って会員の九割が女性であるとい

うことも起因しているのではないのでしょうか？

女性は一般的に社会参加に対する関心がうすく、この
ような活動の中心になってやる人は、なにか特殊な人種
（？）だというふうに考える傾向がないでしょうか？ 同
じ女性のひとりとしてこのようなことを公言すべきではな
いかも知れませんが、みなさんはどうお考えでしょうか？

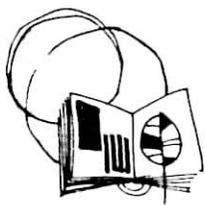
昨年十月より、北海道に難病センターを建設させる運動
が始まっている中で、友の会の活動も新たな局面を迎えてい
るわけです。

会員一人ひとりの自覚が変らなければ、過去五年間に文
集を発行してきたとか、機関紙をコンスタントに続けてき
たとか、言ってみたとところで、北海道難病連の今後の活動
について行くことすら困難だと思えます。

以上のことを含めて、今後友の会として、どういう活動
をすべきなのか、そして会員が友の会に対して望むものは
何なのかを、今度の総会で話し合いたいと思います。

みんなの会だからこそ、みんなで活動するための知恵を
出し合いましょう。

卒直なご意見をお待ちしています。



友の会総会のすすめ方

(十月十五日・午前十時より)

- 一、開 会
- 二、議長選出
- 三、支部長あいさつ・役員紹介
- 四、来賓ごあいさつ
- 五、議 事
 - ① 五十二年度活動報告
 - 五十二年度決算報告
 - 五十二年度会計監査報告
 - ② 五十三年度運動方針及び予算
 - ③ 新年度役員選出・新役員あいさつ
 - ④ その他
- 六、閉 会

膠原病友の会北海道支部会員内訳

(昭和53年9月10日)

① 地区別内訳

札幌及びその近郊	56名
旭川地区	14名
函館地区	13名
その他(釧路・帯広・その近郊)	13名
計	96名

(他に賛助会員として5名)

② 疾病別内訳

S L E	71名(約740%)
強皮症	10名(約10.4%)
皮フ筋炎・多発性筋炎	10名(約10.4%)
その他(シェーグレンなど)	5名(約5.2%)

決 算 報 告 書

52 4 1 ~ 53 3 31

収 入 の 部		支 出 の 部		繰 越 金 内 訳	
前年度繰越金	85,362	機関紙発行経費	55,363	現 金	26,657
友の会本部助成金	66,000	相談員補助経費	34,580	定 期 預 金	30,000
難病連交付金	135,000	医療相談会経費	13,768	普 通 預 金	32,665
支部会費 (89名×600+1000)	54,400	会 議 費	25,400	郵 便 振 替	11,400
寄 付 金	44,290	研 修 ・ 資 料 費	22,230	切 手	3,205
物品売上収入		交 通 費	28,520	未収金 難病連貸付分	85,000
(クッキー 4870) (シャンブ 24000)	28,870	通 信 費	48,004	未収金 シャンブ-18本分	9,900
文集収入 (500円×157冊)	78,500	難病連加盟分担金	50,000		
雑収入 (預金利息他)	6,359	雑 費 ・ 事 務 費	21,289		
		次 年 度 繰 越 金	198,827		
				計	198,827
計	498,781	計	498,781	文集在庫数	127冊

会計監査報告

昭和52年度における膠原病友の会の会計を、全般に亘り帳簿と領収証を照合して監査の結果、適正であることを確認しました。

谷 口 啓 子 印

北海道難病センターの早期実現を!!

第6回難病患者・障害者と家族の全道集会

あなたの要求を!! あなたの参加を!!

と き 10月14日(土) 午後1時より

と ころ 協栄生命ビル 9階大会議室

(札幌市中央区大通西9丁目)

52年度活動日誌

- 4月3日 難病連第1回バザー(寺嶋, 谷口)
(於西区民センター)
- 4月19日 第11回常任理事会(谷口)
- 4月24日 第12回 // (谷口)
- 4月24日 難病連第5回定期総会(寺嶋, 谷口)
(於北農健保会館)
- 5月8日 友の会第4回支部総会(20名)
(於厚生年金会館)
- 6月8日 第2回常任理事会(谷口)
- 6月26日 第1回難病連合同レク(11名)
(於滝野自然学園)
- 7月4日 第3回常任理事会(谷口)
- 7月16日 第30回理事会(寺嶋, 谷口)
- 7月20日 第4回常任理事会(谷口)
- 7月23日 第31回理事会(谷口)
- 7月23日 第5回常任理事会(谷口)
- 8月2日 第32回理事会(寺嶋, 谷口)
- 8月6日 第5回難病連全道集会(18名)
(於自治会館)
- 8月18日 帯広地区懇談会(於市第2庁舎)
(福原, 加藤, 藤田, 長谷川)
- 8月19日 帯広地区相談会(長谷川)
- 8月20日 釧路地区懇談会(於福祉会館)
(岩倉, 谷口, 長谷川)
- 8月21日 釧路地区検診(於釧路市立病院)
(谷口, 長谷川)
- 9月5日 第6回常任理事会(谷口)
- 9月10日 旭川地区集会(於神楽岡福祉センター)
(岸本, 小杉, 齊藤, 佐々木, 大堀,
木村, 寺嶋, 長谷川)
- 9月11日 旭川地区検診(於旭川市立病院)
(寺嶋, 長谷川)
- 9月13日 対道交渉(於婦人文化会館)(寺嶋)
- 9月17日 函館地区懇談会(於市民会館)
(秋本, 秋元, 安部, 小川, 神子島,
高橋, 杉崎, 長谷川)
- 9月18日 函館地区検診(於市立函館病院)
(杉崎, 長谷川)
- 9月21日 第7回常任理事会(谷口)
- 9月24日 第33回理事会(寺嶋, 谷口)
- 10月8日 赤い羽根パレード(谷口)
- 10月16日 札幌地区検診(於夜間急病センター)
(寺嶋, 谷口, 長谷川)
- 10月21日 第8回常任理事会(谷口)
- 10月29日 室蘭地区懇談会(於文化センター)
(千葉, 長谷川)
- 10月29日 全国膠原病友の会第4回総会
(於東京お茶の水ファミリーホテル)(寺嶋)
- 10月30日 室蘭地区検診(於室蘭市立病院)
(長谷川)
- 11月5日 第34回理事会(寺嶋)
- 11月6日 リウマチ道支部講演会(於厚生年金会館)(寺嶋, 長谷川)
- 11月26~27日 第1回理事研修会(北湯沢横山温泉ホテル)(寺嶋, 長谷川)
- 12月14日 第9回常任理事会(谷口)
- 2月25日 第35回理事会(寺嶋)
- 3月25日 全国患者集会上京団結団式(於協栄生命ビル)(長谷川)
- 3月29日 第12回常任理事会(谷口)
機関紙「いちばんぼし」発行
- 4月10日(No.24) 6月10日(No.25) 8月10日(No.26) 10月10日(No.27) 12月10日(No.28) 3月10日(No.29)(発送 佐藤, 関口)
- ❖ 不定期の役員会及び実行委員会などは省略
カッコ内は, 友の会参加者

シャンプー販売にもつとご協力を!!

クリームシャンプーは、発売と同時に好評を得、難病連と友の会の財政を助けて来ましたが、実際に販売に協力下さっている方は、ごく一部の方にすぎません。

ひとりでも多くの方に、シャンプーの良さを知って頂き売上に協力して頂きたいと思えます。

◎ 安全な純植物アルコールで、有害なものは、含まれていません。

◎ 一度買った人は、必ずと言ってよい程、「まだありませんか」とききます。

◎ リンスやトリートメント効果も高く徳用です。



貴女の髪をより美しく健康に保つには安全性にも優れたシャンプーをお使いください。

*今話題の〈海藻エキス配合〉

クリームシャンプーです

それはなぜ?—日本人の毛質に合ったシャンプーだから。

その秘密は?—海藻には神秘的な生命力である養分が含まれているので昔から日本の女性が黒髪のしっとりした艶を保つために海藻を使用していました。その海藻のエキスを化学的に配合したのが「美泉クリームシャンプー」なのです。

NET 200g 550円



*友の会では、550円で扱っています。売上にご協力下さい。

帯広地区難病相談会に参加して

藤 田 浩 子（帯広市）

稀にみる猛暑続きに悩まされた十勝の夏もそろそろ終りに近づき、朝夕は涼しさの感じられるようになった八月十八日、帯広地区難病相談会が市役所第二庁舎で開催されました。

今年四月、帯広地区連絡会が発足して以来初の行事でした。前夜、難病連事務局と地区連役員の話し合いの中で、当日、はたして何人の相談者がくるかということが話題になりました。

しかし、案ずることはなかったのです。三十九名という想像もせぬ人数に、役員側が喜こんだり驚いたりしたのはもちろんでした。公費負担のこと、身障手帳のことや年金のこと等の制度を全く知らなかったという主婦や、長い病気のため、妻に見放されたといい、相当荒れた生活をしているように見える中年男性など、当日、相談者控室をお手伝いさせていただいた私は、いろいろな悩みを持った方の

多いのに本当におどろきました。「ひとり、家にとじこもりがちな私は、苦しんでいるのは自分だけのようによく考えていましたが、こうして多勢の中に出てみると、苦しんだり悩んだりしている方が多勢いることがわかっただけでも来たかいがありました」と話しておられた関節リウマチで両手両足が完全に変形した七十才近いおばあちゃんの言葉が印象的でした。相談のつて下さる医師三名が内科医一名しか都合つかず、期待して来た相談者をつかりさせたのは事実でした。

相談会によつて一人でも多くの方が明るい明日をみつけることができたら幸いです。

（藤田さんは、帯広地区連の役員として、主婦業のかたわら、活動をしています。）

釧路地区懇談会に参加して

岩 倉 一 江（白糠町）

例年、夏は涼しいと思われているこの釧路も今年は暑い日が続きました。九月に入り、釧路は一年中で一番過しやすい季節を迎えました。

さて、まだ暑さのきびしかった八月十九日釧路市福祉会館で、昨年が続いて、第二回目の釧路地区懇談会が開かれました。雨の降る中、スモン・ペーチェットをはじめ、約二十名の患者さんが集まり、自己紹介から始まって、病状経過、現在かかえている悩みなどをひとりづつ話しました。

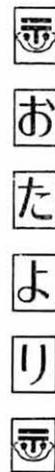
膠原病の患者が市内からは私ひとり、少し寂しい気がしました。こちらに住んでいる膠原病の方とお話ししてみなかったなと思いました。当地区では二十名程の膠原病の患者がいるそうですが……。

十月には札幌で友の会の総会があるようですが、ぜひ参加してみたいと思っています。

懇談会の中で難病センター設立の経過の話がありました。それまで必要とする目的なども詳しくは知らなかったのですが、私達、札幌から遠く離れている患者にとつて、ぜひ必要なのだと思いました。中央に住む患者は良いのですが、私達のように定期的に札幌まで検査などのために出かけなくてはならない者にとつて、宿泊の問題など、一回出かけるたびに大きな負担となります。旅費だけでも一回に一万円では、とうてい足りないのですから。中央から遠く離れている私達にとつて、関心の持てる事だと思えます。ぜひ、早く建設されることを期待します。

そのためには、一人でも多くの患者・家族がセンターの協力会員になることです。

これから、寒さに向いますので、みなさんも、かぜなどに気をつけ、元気な毎日をお過ごし下さい。



秋 本 和 恵

友の会のみなさん、こんにちは。

私は、無事検査を終え、退院して、今はすぐ元気です。心配したステロイドの副作用もなくて、先日も友だちとキャンプに行ったり、泳がないけど海を見に行ってきました。

いつものことながら日傘をさして、日焼け止めクリームをたっぷりぬって……。それでも今年は何年ぶりかで焼けて、くろんぼさんです。でも病気の方は、なんともないみたいで、二、三年前の私から考えれば、ウツみたいな毎日で、このごろは楽しいことばかりです。だからやっぱりこの病気には、波があつて良い時と悪い時の差が大きいことを感じます。今、病状の良くない人も、きつと元気になれるからがんばって、と励ましてあげたいのです。でも、油断は大敵、薬は忘れずにのむこと気をつけることはいっぱいあります。

友の会に入った時、寺嶋さんから貰った手紙の事は、今でも忘れられません。これからも、多くの人を励ましてあげてください。

新入会員紹介

清野 和子 (S L E)

札幌市

荒尾 みや子 (S L E)

帯広市

御寄付御礼

荒木 マツ子様 二、〇〇〇円也

戸田 多恵子様 二、〇〇〇円也

影沢 フミ子様 一、〇〇〇円也

ありがとうございました。



あじかき

★ 異常に暑かった夏が終わりました。病人にとっては、厳しかったですね。

★ さて、今年は、初の試みとして、一泊二日形式で、総会及び医療相談会を行うわけですが、はたして何人くらい集めるのか、とても心配です。年に一度しかないことですから、おかげんの悪いところ大変でしょうけど、ひとりでも多くの参加をお待ちしています。

★ 「なんれん」十七号の五ページに、北海道難病センター設置の早期実現と、総合的な難病対策確立についての「請願書」がついています。家族・ご近所の方、職場の方々に署名のご協力をお願いして下さい。

第一次集約日は十月十四日です。くわしくは「なんれん」十七号の五ページをみて下さい。

編集人 全国膠原病友の会 北海道支部
札幌市 寺嶋 礼子

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1条東4丁目 本間 武司

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻77号 100

いちばんぼしA6.32 昭和53年.9月10日発行(毎月1回10日発行)
